

新春あいさつ

あけましておめでとうござ
います。本町は平穩無事で災
害なども少なく、皆さまに
おかれましては、健やかで幸
せな年明けを迎えられたこ
とと思います。

昨年は町制施行50周年と

いうことで色々な冠行事が行
われました。昭和38年4月1
日に津奈木村から津奈木町
に町制移行し50年。平成の
大合併などにより日本の町
村の数が極端に減少する中、
単独で町制を行ってこれたの
は、先輩諸氏、町民皆様
のご協力のおかげであります。
これからも町民の皆さまと
のきめ細かな行政を目指して
いきたいと思っています。

昨年は世界各国の首脳な
どが水俣に集まり水俣病問
題の原因となる水銀について
考える『水銀に関する水俣
条約外交会議』が開催され、

また、天皇后両陛下が水
俣までおいでになり稚魚の放
流事業を直々に行われた『全
国豊かな海づくり大会』も
開催されました。隣の市で
はありますが、歴史に残る
喜ばしい出来事でした。

また昨年は町長選挙にお

いて無投票当選させていただ
き、「とにかく頑張らないと」
という気持ちでいっぱいです。
20年間行政を行ってきた、住
みたくなる町づくりの一環と
して『緑と彫刻のある町づ
くり』など本町の存在が他市
町村にも知られてきています。
これに基づき農産物の販売や
観光での集客を行うなどの
さらなる活性化を進めていか
なければならぬと思います。
そのためには地道な努力とと
もに、世界の動向に目を向け、
臨機応変に対応することが必
要になってきます。
『過去を振り返り検証し、

初心に返って将来を見越す』
このような謙虚な姿勢で6
期目を頑張っていきたいと思
います。

現在、新幹線が開通し、
南九州西回り自動車道も平
成27年度に完成予定と高速
交通網のインフラがかなり
整ってきています。このチャン
スに向かって重盤岩、舞鶴城
公園、美術館、四季彩、ダ
リーングイトを中心に誘客

を図るため、一帯整備などを
考えています。昨年は町民の
皆さまが植えてくださった楓
や紅葉、イチヨウがきれい
でした。春には花桃と桜が重
盤岩を彩ってくれると思いま
す。しかし、これだけでは、
集客は難しく、外部から来
る人に町全体の「おもてなし
の心」で歓迎しPRすること
が大切になります。

行政だけでは町の発展、

活性化にはつながらず、『住
みたくなる町づくり』は進
められません。私たち行政
も町民皆さまが津奈木町で
安心・安全に暮らすために
様々な取り組みを行ってい
きます。これからも町民の皆
まのご理解とご協力をお願い
し、年頭のご挨拶とさせてい
たきます。

津奈木町長 西川 裕

津奈木町の 2013年

4月 つなぎ児童クラブ 「風ん子」開所！



平成24年12月に完成
した、つなぎ児童クラブ
「風ん子」が4月に開所
しました。現在では21
人の児童が利用して
おり、放課後になると、と
ても賑やかになります。

6月 赤崎水曜日郵便局開局！

住民参加型アートプロ
ジェクト「赤崎水曜日郵
便局」が6月にスタート
しました。開局記念イ
ベントでは灯台ポストの点
灯式や記者会見、記念
ライブが行われました。



10月 町制施行50周年 記念式典開催！

町制施行50周年を
祝う記念式典がつな
ぎ文化センターで開催
され、これまで町の発
展に貢献された人や
団体に表彰状・感謝
状が贈呈されました。



10月 舞鶴城公園に 「幸せの鐘」完成！

「人と人をつなぐ
縁結び」の意味を込め
て舞鶴城公園に「幸
せの鐘」が設置されま
した。12日には除幕
式が行われ、澄んだ鐘
の音に癒されていました。



11月 小津奈木地区 地域見守り員発足

各地区の高齢化が急
速に進む中、小津奈木
地区で本町初の試みと
なる「地域見守り員」が
発足されました。これ
を受けた高齢者の方は
安心した様子でした。



8月 競舟大会平国下チーム 29年ぶりの優勝

今年も晴天のもと
開催された競舟大会。
平国下チームが9連覇
のかかった大泊チーム
をわずか1秒差で破り
見事29年ぶりの優勝
を果たしました。

